

私たちにとって

政治って何？

かれんと

No.23

2003.11.10

Current:カレント

時代の流れあるは
新しい潮流

主な内容

- 市政と市議会
- 女性議員に質問
- 市民の声
- 女性に対する暴力をなくす運動
- 地区別懇談会
- ひとくちメモ

※「かれんと」は、ボランティア編集員が担当し、作成しています。

「政治」というと、皆さんはどんなことを感じますか。大切なことだけれど、なんだか難しいこと、一部の政治家だけのこと、誰がやっても何も変わらない…。そんなふうに感じていませんか。

しかし、少子高齢化、大きく変化する教育環境、低迷する経済状態、国際情勢、私たちの暮らしの中に女性にとって身近な問題はたくさんあります。このような問題を解決していくのも「政治」の力なのではないでしょうか。

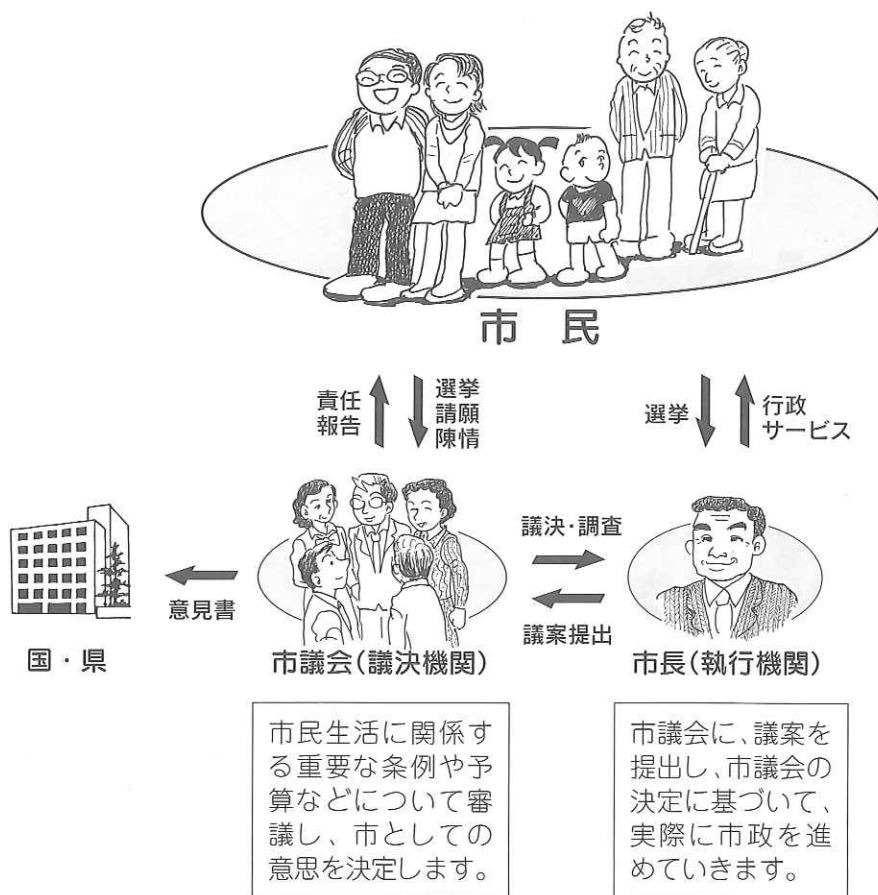
私たちの暮らしそのものを、世の中を、良くしていくために、他人事ではなく社会の一員として一人ひとりが「政治」にどう参画していけるのか、皆さんも一緒に考えてみませんか。



市政と市議会

市役所は、まちづくりや福祉、教育、道路、上下水道など、私たちの市民の生活と深くかかわる仕事をしています。
これらの仕事(市政)には、市民の意見が十分反映されなければなりません。そこで市長や市議会議員を選挙で選びます。

市長(行政)と市議会は、車の両輪のようにそれぞれ独立した対等な立場で市民生活の向上に努めています。



女性市議会議員に「男女共同参画社会実現のために、今、一番必要なことは何だと思えますか」という質問に対してご意見をいただきました。

*** 荒井令子議員**

学校の混合名簿や、地域での会議等いろいろなところで推進されて来ているので、男女共同参画社会に対しての意識は高くなっていると感じます。

女性ばかりでなく、男性にももっと広く議論をして欲しい。また女性も今いる所を大切に、男女共同参画社会の推進を意識して頑張つて欲しいと思います。

*** 塩入佳子議員**

男女共同参画社会とは歴史上、記録のない社会である。だから、この新しい形の理想の社会実現のためには①「意識の改革」②「制度的な改革」が車の両輪のように必要である。改革には既得権を守ろうとする勢力の抵抗が付きものであるが、理想の社会が定着するまで、歩みを止めずに前進を続けることこそ、今一番必要だと思う。

*** 寄川フユ子議員**

政策決定の場に、女性の参加は、まだまだ少ない状況であります。鹿沼市にとりまして、男女共同参画社会の実現を推進するためには、条例づくりが必要で、その為には子ども、高齢者、障害者の方々の人権が守られ、お互いに相手の立場を、尊重し合える社会づくりが重要と考えます。

(五十音順)

政治について市民の声を聞きました

あなたにとって「政治」とはどんなものですか。

自分とは無関係の世界で動いているもの。又、あまり世論が通用しないのではないかと思う。(20代 女)

国民全員が安心して生活できるためのもの。(40代 女)

一部の市民だけではなく、市民一人一人全員が暮らしやすく快適な生活を築いてくれるもの。しかし市民も要望を言うばかりではなく、自らも参加して努力していかなければならないことだと思います。(30代 女)

日本が地方が大変革しないとつぶれる。旧来のやり方を変える思い切った政治を望む。(70代 男)

市町村民、県民、国民の生活、文化、産業等々の発展、安全の舵取り役の場。(80代 男)



市議会議員に期待することはどんなことですか。



市民の切実な願い、要望を親身に考え、派閥など関係なく改善する努力をしてほしい。(30代 女)

安心して子育てができる制度作り。(30代 男)

自ら企画、提案できるよう猛勉強をしてほしい。(50代 男)

市議会をもっと分かりやすく公表して欲しい。(30代 女)

慣習にとらわれず良いことは積極的に取り入れる。(70代 男)

全国的に女性議員が増えてきていますが、これについてあなたはどのように思いますか。

良いことだと思う。女性ならではの感性や持ち味を発揮して欲しい。(20代 女)

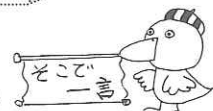
議員にふさわしい人であれば男性も女性も関係ないと思う。(30代 男)



増えればよいということではなく、男性と共存しながら切磋琢磨出来れば良いと思う。(50代 女)

男女の能力差は異質なものとされています。政治をとりまく諸問題の根源は女性議員の少ないところから起こっていると思っています。(60代 男)

当然のことだと思います。女性初などと取りざたされること自体女性蔑視であると思います。(20代 男)



9月7日、鹿沼市議会の選挙がありました。投票率は男性62・90%、女性66・83%でした。
私たちは今日、当然のこととして選挙権を行使しています。この権利に対して、特に、女性は常に認識を新たにしていきたいものです。1945年まで女性に参政権はありませんでした。男女が等しく参政権を行使できる現在ですが、政治への参画は同等になっているでしょうか。
私たちの最も身近な政策決定の場である鹿沼市議会には男性25人に対して女性はたった3人です。政策決定の場において、もっと女性の視点を取り入れた提言が求められています。しかし、男女共同参画社会基本法が制定された今も全国的に見て女性議員の数はまだまだ足りません。
女性が必要とされながら政治の場に進出していけない原因はどこにあるのでしょうか。
問題点を明らかにし、前進への足掛かりが必要です。
より身近な政治とは多くの市民が共感できる政治であり、そこに私たち一人ひとりのパワーが求められています。
「政治はたれがやっても同じ、どうせ・・・」とあきらめる前に、女性ももっとインパワメントして、身近に政策決定の場を確保していかなければなりません。
※力をつけること

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク



*ひとりで悩まないで、まず、相談をしてください。下記の機関で相談を受けています。

*夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服されるべき重要な課題です。

*平成13年、内閣府男女共同参画推進本部において、毎年11月12日から25日までの2週間は、「女性に対する暴力をなくす運動」を実施する旨の決定がなされました。

「女性に対する暴力をなくす運動」

相 談 機 関		電 話 番 号	備 考	
公 的 機 関	市	鹿 沼 市 児 童 福 祉 課	63-2177 月～金 8:30～17:00	
	栃 木 県	婦人相談所(配偶者暴力相談支援センター)	028-622-8644 月～金 8:30～17:15	
		県 西 健 康 福 祉 セ ン タ ー	62-6224 月～金 8:30～17:15	
		被 害 者 相 談 電 話	0120-710-873	警察本部
		あ な た の 相 談 室	028-627-9110	
	パルティ相談室(とちぎ女性センター)	028-665-7714 火～土 9:00～16:00		
民間	ウィメンズハウスとちぎ(NPO法人)	028-621-9993 火・木 10:00～15:00		



第19回地区別懇談会開催
鹿沼市女性団体連絡協議会が中心となり、中央・南摩地区自治会協議会の協力を得て、男女共同参画社会をめざす「地区別懇談会」が開催されました。
「男と女の分かち合い」をテーマに、「ならんで」一緒に歩きたい」というビデオを視聴し、グループごとに日頃感じている、疑問や悩みについて活発な意見交換を行い、自分らしく生き生きと暮らせる社会について考えました。



ひとくちメモ **GEM (ジェンダー・エンパワーメント指数)**

女性が積極的に経済界や政治生活に参加し、意思決定に参加できるかどうかを測る指標。具体的には、女性の所得、専門職・技術職に占める女性の割合、行政職・管理職に占める女性の割合、国会議員に占める女性の割合を用いて算出している。
2003年のGEM指数は、70か国中44位と昨年の32位より更に低下した。

編集後記

4月の県議選、9月の市議選、そして国政選挙。こんなとき思うことは「どうして女性議員の数が少ないのだろう。投票率は女性のほうが高いのに」。毎日の生活の中で子育てに関すること、介護に関すること、生活に関すること、主に関わってきたのは女性です。
男性も女性も「女性の視点の必要性」もって考えてみませんか。